

これから霜月、文化祭はないけれど…

秋も深まり、強い霜の後に強い風…日ごとに色鮮やかな紅葉が散り、落ち葉の絨毯を踏みしめる音もなかなかいいものです。

早朝の陽ざしを受け、輝いている枯葉たちを写真に収めました。

枯葉といえばシャンソン、イヴ・モンタンやジュリエット・グレコ、エディット・ピアフ、ジャズならマイルス・デイビスやニューヨーク・マンハッタン♪…「ああ、覚えていたらいいのに 私たちが友達だった幸せの日々 当時の生活はもっと美しかった そして太陽は今日よりも暑い 落葉はシャベルで集める 思い出と後悔も そして北風が彼らを運び去る 忘却の寒い夜に…」

枯葉の歌詞の一部です。1945年詩人で作家のジャック・プレヴェールの作品。彼は映画「天井桟敷の人々」のシナリオライターでもありました。

「愛し合っている者同士にはパリも狭い。」という名言も残しました。1945年の時代背景を想像しフランスらしいと思わずにはられません。

さて、私ことで恐縮ですが、先週金曜日2年振りに健康診断がありました。バリウム検査はなかったので一安心！気楽な気持ちで保健センターに行きましたが時間帯と人数制限した検査とは思えないほどのたくさんの受診者、バタバタと身長・体重・胴回りから聴力と視力検査、血液採取と何ともベルトコンベアーに乗った製品の振分け作業のような40分間でした。

出来れば60代後半の受診者にはもっと心配りをしてほしいと思いました。

気を取り戻し“そらのクジラ”でお昼のパンを買い我が家へ…麓郷街道でとても美しい風景に出会いました。強い風に乗って色とりどりの落葉一枚一枚が陽ざしに反射し踊っているではありませんか。「秋の葉は最後の花ではないだろうか。葉はそのためだけに落ちるのだろう……」という詩の一節をネットで目にしたことがあります。いい言葉だなと思いました。今年は文化祭はありませんが、身近なところに美しいものがたくさんありますね。「人生とは美しさの追求にあり！」とあらためて思いました。今日は俳句の世界の魅力に触れましょう。



Today's Schedule

令和2年 10月28日(水曜日)

- 8時45分 当番：本科3年生
- 9時15分 朝の集い 校歌斉唱
- 10時00分 「俳句の魅力に触れる」
講師：橘 千祥 先生
俳句の侘び・寂（わび・さび）に挑戦
- 12時00分 昼休み・休憩
- 12時40分 臨時自治会六役会議（第1会議室）
- 13時00分 富良野校演劇同好会
「特殊詐欺被害防止」DVD視聴
- 13時30分 源氏物語 3
桐壺その2 （訳：円地文子）
- 15時00分 後片付け 終了

本日は古典の魅力ということで、昨年に引き続き橘先生を講師にお招きし勉強します。

今年度は夏と秋の二回の講座を予定していましたが一回目はコロナ感染防止で中止となりました。

今回は俳句に絞り、俳句の作り方のルールや季語などの基本を学びながら俳句に挑戦です。

既に、俳句のサークルに入会し、実践されている方もいらっしゃるので、いいお手本も期待できるでしょう楽しみです。

俳句の侘び（わび）寂（さび）に触れることができるかもしれませんね。

午後は突然ですが、演劇DVDを鑑賞します。その後は予定通り、源氏物語の現代語訳、竹下景子さんの朗読で聴きましょう。

源氏物語の学習は今日と来月の2回となりました。

狂言講座

今年度2回目の二校合同の学習の狂言講座はとても勉強になりました。特に、狂言の笑い方はとても印象深かったです。笑いは免疫力を高める、それこそNK（ナチュラルキラー）細胞が活性化されることです。つまり、笑うと様々な病気に対して強い体ができるということです。講師の榎本先生は能楽師狂言方大蔵流ということで、上富良野町に在住し、舞台公演の出演のほか、各所でワークショップや講演を行っているそうです。榎本先生曰く、狂言の世界に飛び込んだ理由は、「それが運命だと素直に感じられたから」ということですから凄いですね。

今、狂言の作品を探しています。狂言、源氏物語、俳句などどんどん古典をお勉強しましょうか.....



NEXT SCHEDULE

令和2年11月11日（水）

- 8時45分 本科4年生・大学院1年生当番
- 9時15分 朝の集い 校歌斉唱
- 10時00分 クラブ学習 ④
- 12時00分 昼休み・休憩
- 13時00分 「コーラス」「踊り」③

本日は大ホールで行いますが、次回からは
中会議室で行います。

- 14時00分 ・音楽鑑賞 or 狂言鑑賞
・フロアーカーリング交流会
の準備
- 15時00分 終了後片付け

◎ 午前はクラブ学習の3回目となります。各クラブごと会場の準備をお願いします。

三密を避けるための会場設定、テーブルや椅子の除菌などを含めウイルス感染予防に心掛けてください。

この時期、例年ですと文化の日を挟んで、市総合文化祭が開催されています。

そこで、ことぶき大学での作品展を12月に開催したいと思います。

12月9日（水曜日）がクラブ学習の5回目となりますので、午後「踊り」「コーラス」終了後、作品展示作業を行いたいと思います。

ことぶき大学作品展示期間

12月9日（水）～12月16日（水）

文化会館ロビーを予定しています。

よろしくをお願いします。

新型コロナウイルス感染拡大!?

このところ道内の感染者が急増しているのは皆さんもご存じのことと思います。ここ数日、40名から60名という報道もされています。

ウイルスとの共存の中でのゴーツートイート、ゴーツートラベルですが、もう一度初心に戻り感染防止に心がけなくてはなりません。秋から冬にかけてインフルエンザも含め何かと心配な季節を迎えます。これからも、北海道スタイルを守り、感染予防を再確認しましょう。

「新北海道スタイル」

新北海道スタイルとは

新型コロナウイルスとの闘いが長期化しています。私たちは、国が示した「新しい生活様式」の北海道内での実践に向けて、**ライフスタイル、ビジネススタイルを変革**しなければなりません。北海道に関わる全ての方々の知恵を集め、取組を可視化し、道民と事業者が連携しながら、北海道全体で感染リスクを低減させる、そして、事業継続やビジネスチャンス拡大につなげていく。それが「**新北海道スタイル**」です。道民の皆様が心を一つに、コロナに強い新たなステージの北海道を目指しましょう。

北海道知事 鈴木 直道

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願ひします

道民の皆さまへ

いまは、きよりをとって	手を洗おう	咳エチケット	換気をしよう	北海道「コロナ適応システム」 接触確認アプリ(COCCA)を 活用しよう
3つの「密」をさげよう	テイクアウトやデリバリーも	オンラインを上手に使おう	いまは、小聲で	正しく理解し 思いやりある行動を

はじめよう、つづけよう。「新北海道スタイル」

ことぶき大学の行事におきましても、今一度ウイルス感染防止に向けての再検討をしていきたいと思っています。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

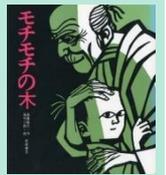


特集 切り絵クラブ・絵手紙クラブ

今回は切り絵クラブと絵手紙クラブを特集します。皆さんのクラブ学習に対する熱意にはとても感心しています。切り絵の魅力は何ととっても指先と頭の集中力が鍛えられるということです。細かい作業ですし、輪郭線など繊細な部分を慎重に切っていくのですからやり直しできません。

随分前になりますが、新聞の日曜版に掲載されていた滝平二郎の作品を蒐集していた時期があります。「モチモチの木」で有名ですね。切り絵は何故か、童話、昔話、空想、幻想、夢、子ども…そんな言葉が浮かんできます。切り絵の発祥はインドということです。

絵手紙クラブでは「絵手紙アルバム？」を作成していました。和紙などを利用しながら自分の作品集が出来るなんて素晴らしいですね。絵手紙の魅力は「心の贈り物」「心を伝える」ということですね。「へたでいい へたがいい」という意味は何でしょうか。



飾らない心、誠実な今の気持ちを伝えるということでしょう。「へたがいい」と言われるとちょっと気になりますが、技術よりも気持ちを重視したいというのが絵手紙の基本なのかも知れません。

クラブ学習とは自分の時間、自分だけの時間、一人の時間、自分自身を見つめることができる時間…自分をより高めるといことなのですね。とても素晴らしいです。

茶道クラブでおもてなしの心を学ぶ

インターンシップで富良野高校の生徒が2日間社会教育課で学ぶことになりました。二日目、クラブ学習の見学では「茶道クラブ」にを訪問し、講師の岡田先生から「茶道の心」を学んでいました。

茶道といえば千利休、一期一会、おもてなし茶器、茶会という言葉を連想します。「もう二度と会えないだろう貴方へのおもてなし」戦国時代という時代背景・人間関係を考えさせられます。

